

令和2年4月1日付け 知事部局人事異動について

県政の諸課題に対応するための組織改正に併せて、適材適所による人事体制を整備した。

○平成31年4月＋令和元年7月異動：866人 → 令和2年4月異動：878人

※異動規模は近年900人前後で推移（H28年4月：907人、H29年4月：887人、H30年4月：869人）

(1) 女性管理職日本一の水準がさらにアップ

○女性活躍における全国の最先進県として、統轄監をはじめ、新たに生活環境部長、県土整備部次長、交流推進課長、障がい福祉課長及び福祉監査指導課長の職に女性職員を配置するなど、本庁管理職の男女共同参画を進め、県政の主要施策を推進する。

〔女性管理職割合〕

平成31年4月現在：20.3%（全国第1位）⇒ 令和2年4月（速報）20.9% 内閣府公表ベース
全国一位であった前年度の水準がさらにアップし、女性活躍の場が拡大。

※知事部局、病院局、教育委員会（教員を除く）、各種委員会、警察本部を含む県全体

※内閣府は、都道府県の女性管理職の割合を公表しており、平成31年4月の状況は令和元年12月に公表

知事部局の部長級職員の女性割合： 25.0% ⇒ 27.8%（4名→5名）

次長級職員の女性割合： 14.0% ⇒ 18.5%（8名→10名）

(2) 県政の主要課題への対応

① 持続可能な地域づくり（SDGs（持続可能な開発目標）の取組）を推進するための体制整備

・持続可能な地域づくりを推進するため、令和新時代創造本部に県政全般の施策に精通した職員を配置するとともに、低炭素社会に向けた施策を展開する生活環境部に次長級の職員を配置。

② 新型コロナウイルス感染症対策担当の部長級・次長級を配置し体制強化 保健師の部長級は鳥取県初

・新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりを踏まえ、新たに部長級、次長級の担当職員を配置した新型コロナウイルス感染症対策本部事務局体制を整備し、県民の健康や医療体制の充実を図る。

③ スポーツ振興体制の整備

・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向けて、地域づくり推進部にスポーツ振興局を設置し、スポーツ行政に精通した次長級の職員を配置。